

# 決算説明会

2021年3月期

自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く



**西部電機株式会社**  
(東証二部・福証 証券コード6144)

# 目 次

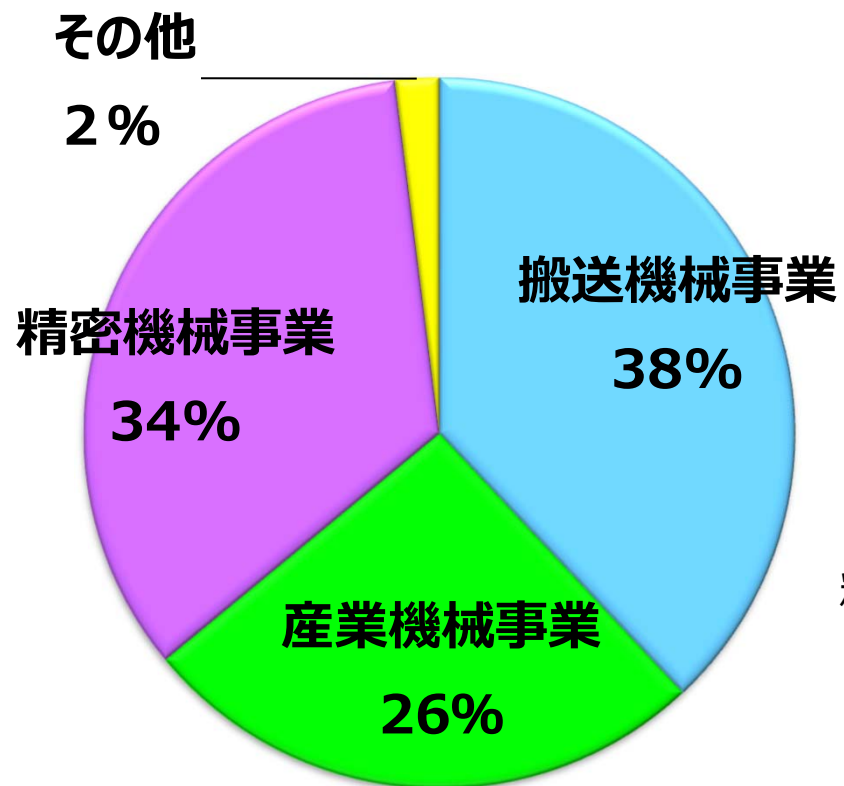
|                              |    |
|------------------------------|----|
| ◇ 会社概要 .....                 | 2  |
| ◇ セグメント別売上高比率 .....          | 3  |
| ◇ 経営環境 .....                 | 4  |
| ◇ 2021年3月期 連結業績（概要） .....    | 5  |
| ◇ 2021年3月期 連結業績（推移） .....    | 7  |
| ◇ 受注高（セグメント別）推移 .....        | 8  |
| ◇ 売上高（セグメント別）推移 .....        | 9  |
| ◇ 営業・経常・当期純利益推移 .....        | 10 |
| ◇ B S（連結） .....              | 11 |
| ◇ C F 推移 .....               | 12 |
| ◇ 2022年3月期 経営方針 .....        | 13 |
| ◇ 2022年3月期 業績予想 .....        | 14 |
| ◇ 2022年3月期 セグメント別売上高予想 ..... | 15 |
| ◇ 設備投資、減価償却費、研究開発費 .....     | 16 |
| ◇ 各事業の概況と通期見通し等 .....        | 17 |
| ◇ 配当政策、株主還元に対する考え方 .....     | 26 |
| ◇ 「チャレンジ280」中期経営計画 .....     | 27 |

## 会 社 概 要

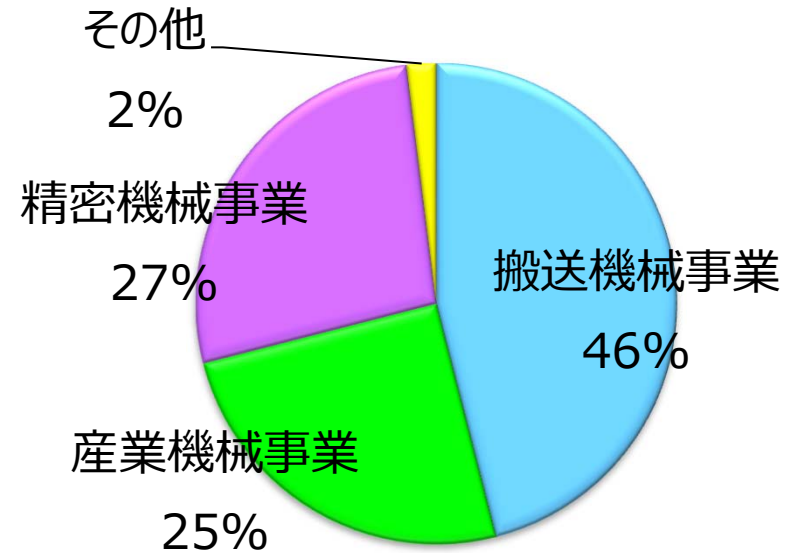
|         |                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|
| 商 号     | 西部電機株式会社<br>Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.                           |
| 証券コード   | 6 1 4 4                                                                   |
| 上 場     | 東証 2 部（2006年）<br>福証 （1986年）                                               |
| 本 社     | 福岡県古賀市駅東3-3-1                                                             |
| 創 業     | 1927年1月                                                                   |
| 資 本 金   | 26億58百万円                                                                  |
| 発行済株数   | 15,160千株                                                                  |
| 時 価 総 額 | 190億86百万円（2021年6月3日現在）                                                    |
| 売 上 高   | 246億48百万円（2021年3月期：連結）                                                    |
| 従 業 員   | 548名（連結） 494名（単体）                                                         |
| グループ会社数 | 3 社<br>西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、<br>西部ペイント株式会社                                |
| HPアドレス  | <a href="https://www.seibudenki.co.jp/">https://www.seibudenki.co.jp/</a> |

## セグメント別 売上高比率

＜ 2021年3月期 ＞



＜ 2020年3月期 ＞



## 2021年3月期の経営環境

### プラス要因

- 世界に先駆けて中国市場の急速な経済活動の正常化
- 労働力不足の深刻化に伴う省人化に対する自動化の流れ

### マイナス要因

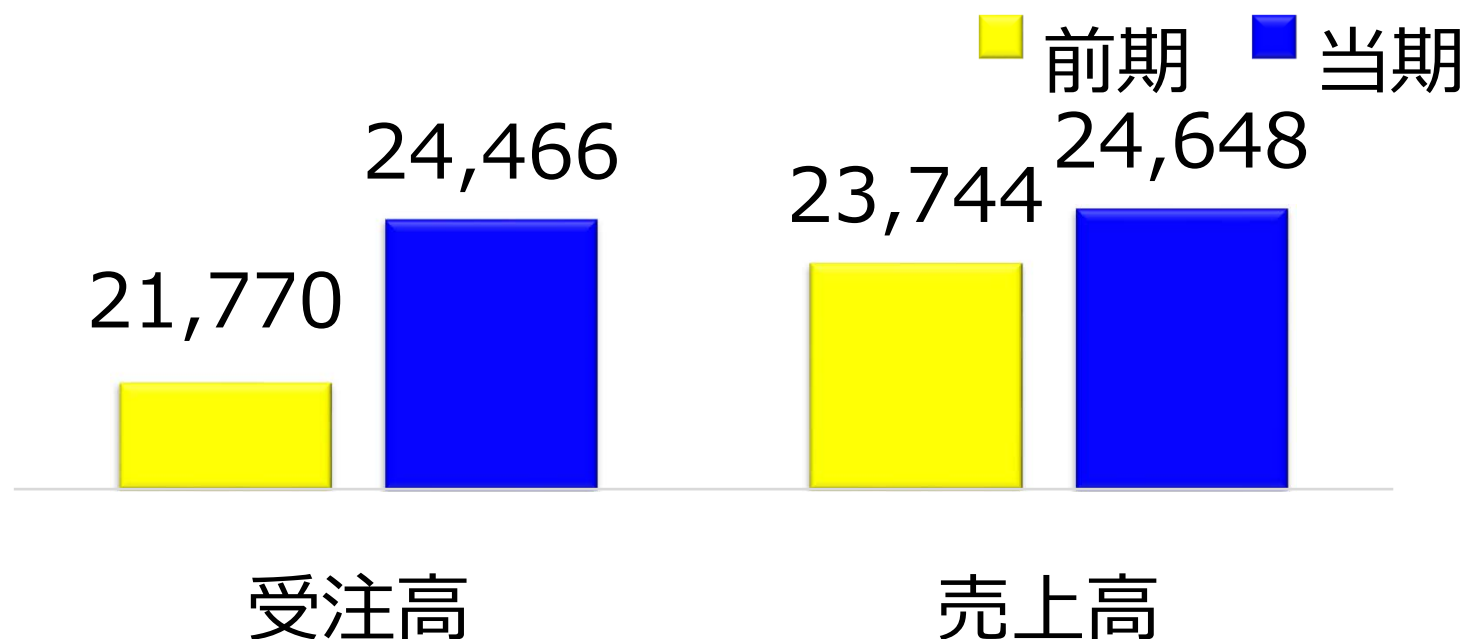
- 世界中への新型コロナウイルスの感染拡大
- 国内を含めグローバルな設備投資に対する慎重な姿勢

半導体市場全般の急速な回復や積極的なニューインフラ関連投資の推進

諸外国の通商問題、政治・経済の不安要素を抱え、  
新型コロナウイルス感染拡大の長期化による先行き不透明感

## 2021年3月期 連結業績（概要）

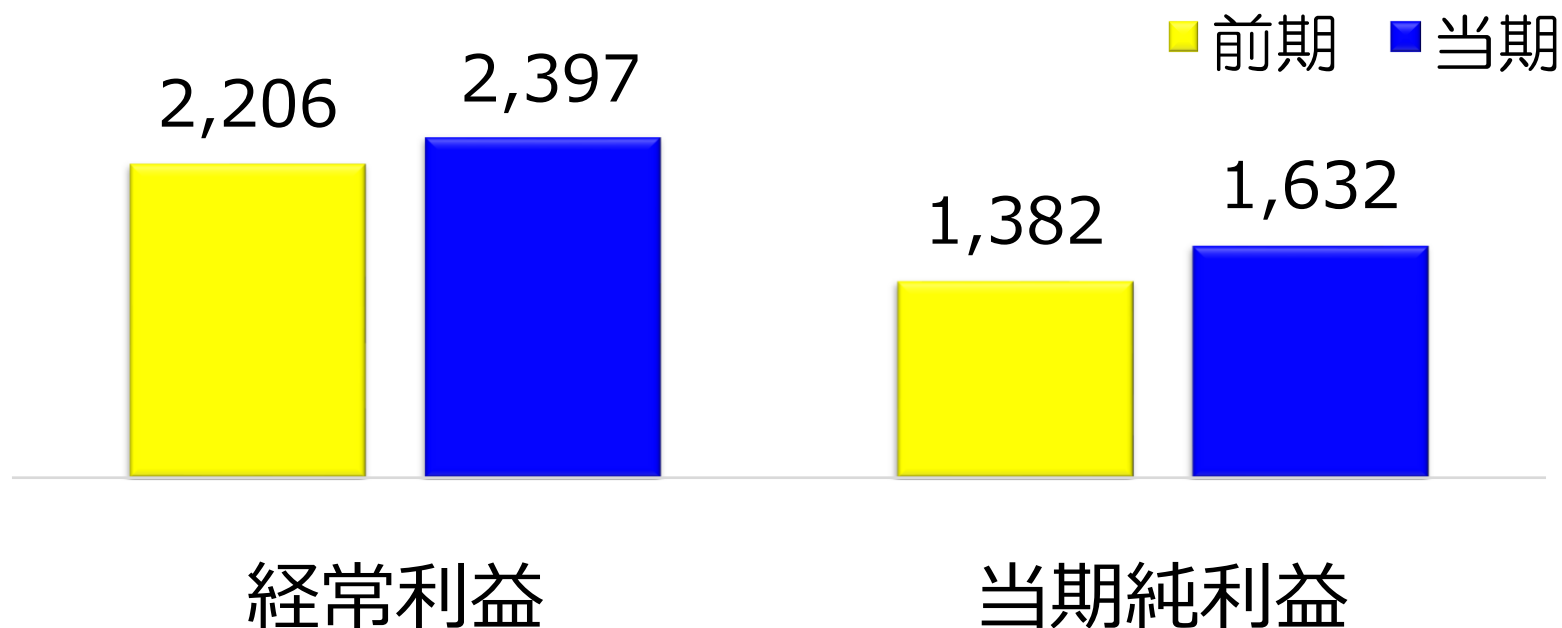
|             | 当 期    | 前期比増減   |
|-------------|--------|---------|
| 受 注 高 （百万円） | 24,466 | + 12.4% |
| 売 上 高 （百万円） | 24,648 | + 3.8%  |



- 受注高は4年連続200億円超。
- 売上高は過去2番目の実績。

## 2021年3月期 連結業績（概要）

|               | 当 期   | 前期比増減   |
|---------------|-------|---------|
| 経 常 利 益 （百万円） | 2,397 | + 8.7%  |
| 当期純利益 （百万円）   | 1,632 | + 18.2% |



- 経常利益は過去2番目の実績。
- 当期純利益は4年連続10億円超。

## 2021年3月期 連結業績（推移）

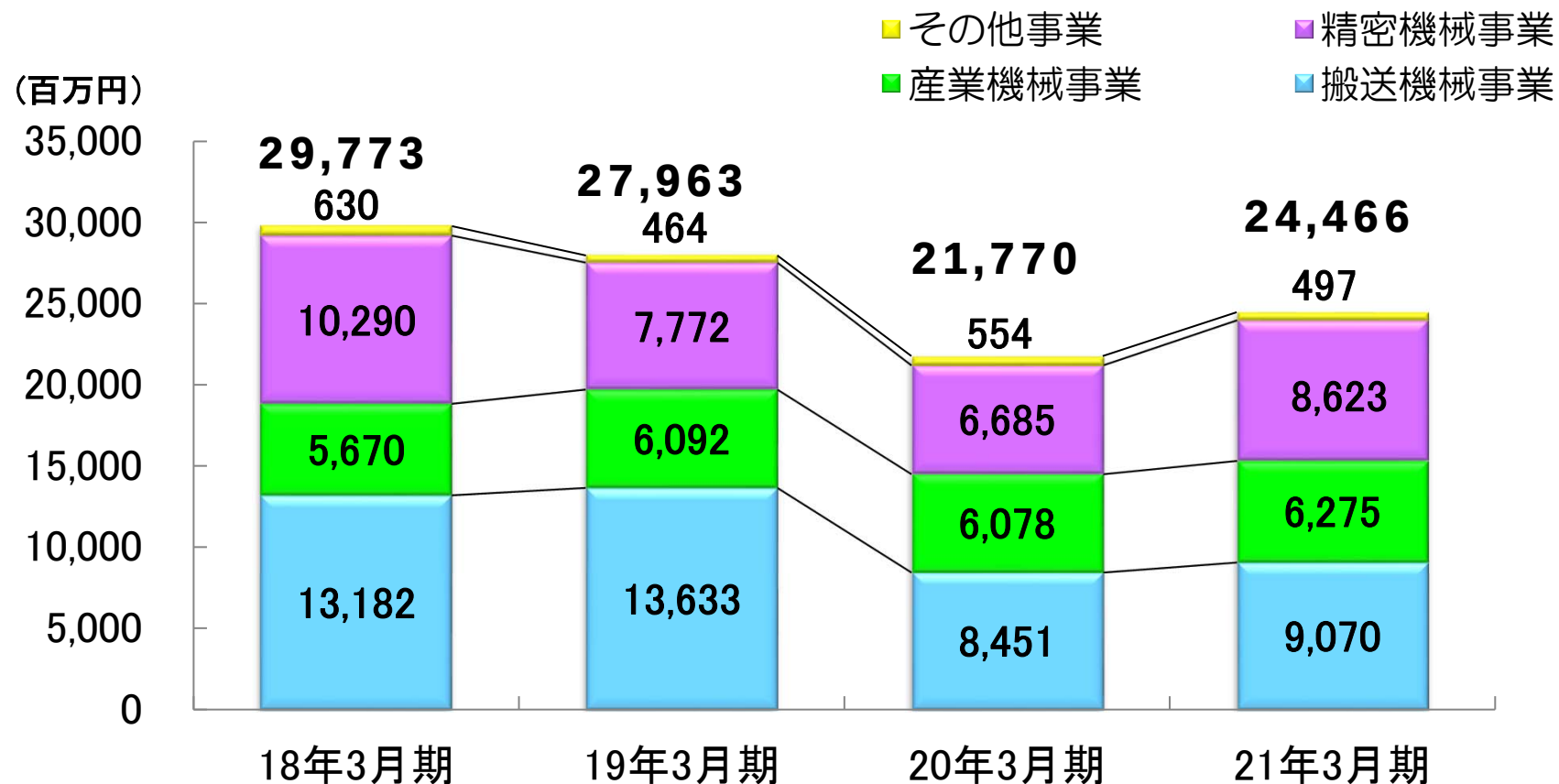
単位（百万円）

|          | 2020年3月期<br>実績 | 2021年3月期<br>期初予想 | 2021年3月期<br>実績 | 前年実績比<br>(%) | 期初予想比<br>(%) |
|----------|----------------|------------------|----------------|--------------|--------------|
| 受注高      | 21,770         | 23,050           | 24,466         | 12.4         | 6.1          |
| 受注残高     | 8,989          | 8,770            | 8,807          | △ 2.0        | 0.4          |
| 売上高      | 23,744         | 23,260           | 24,648         | 3.8          | 6.0          |
| 売上総利益    | 6,343          | 6,130            | 6,700          | 5.6          | 9.3          |
| 営業利益     | 2,077          | 1,940            | 2,289          | 10.2         | 18.0         |
| 営業利益率(%) | 8.7            | 8.3              | 9.3            | 0.6pt        | 1.0pt        |
| 経常利益     | 2,206          | 2,020            | 2,397          | 8.7          | 18.7         |
| 当期純利益    | 1,382          | 1,350            | 1,632          | 18.2         | 20.9         |

- 中国向け精密機械が好調に推移。
- その結果、増収・増益。期初予想を上回った。



## 受注高（セグメント別）推移



### ➤ 21年3月期のポイント

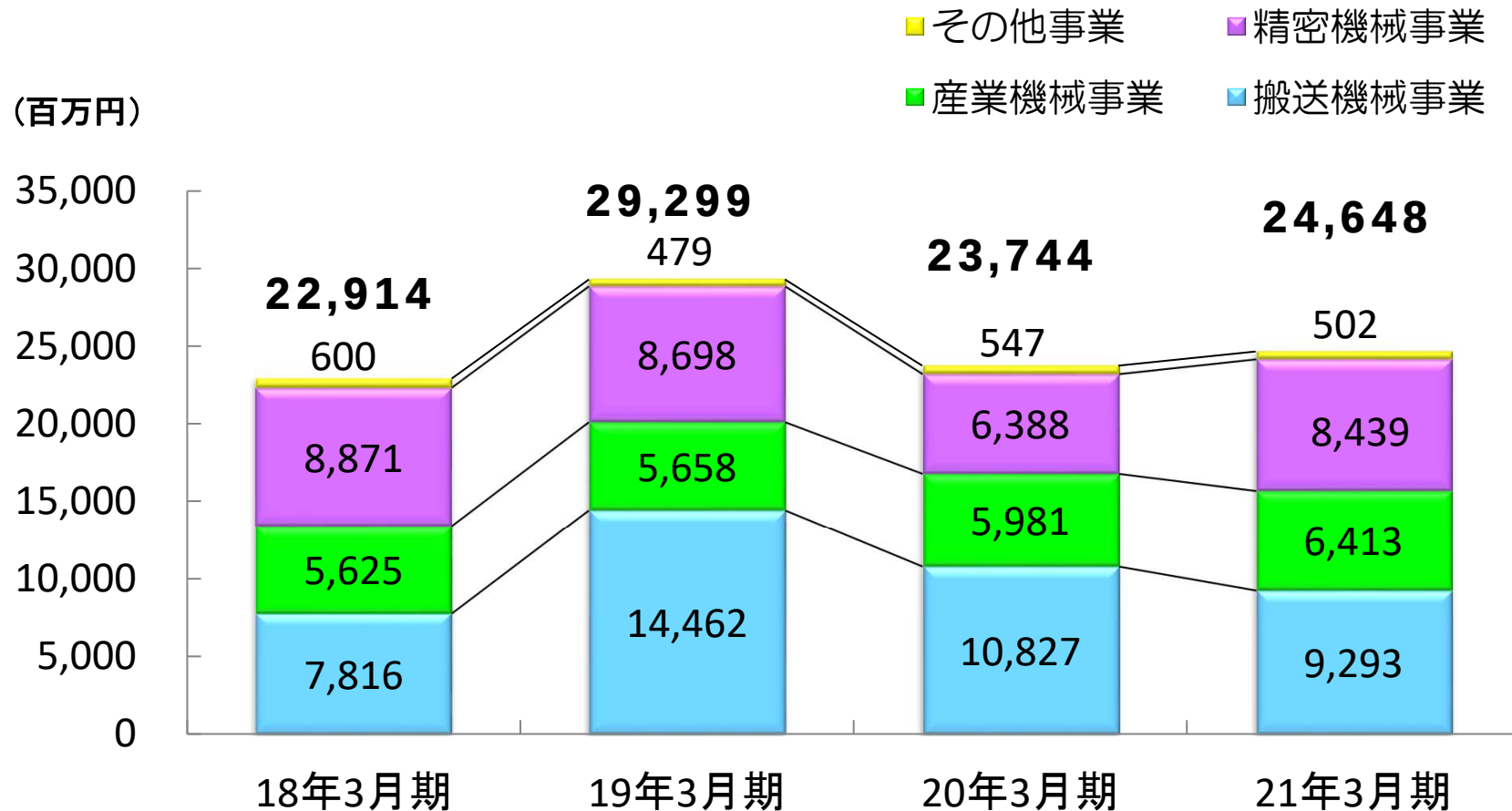
搬送機械事業：自動化物流センターの成約あり。前年比微増。

産業機械事業：民需の掘り起こしやゲート分野、上下水道向け、サービスメンテナンスが順調に推移。前年比微増。

精密機械事業：国内は低迷。中国向けワイヤ放電加工機が好調に推移し、前年比29.0%増。

4年連続200億円超を確保。

## 売上高（セグメント別）推移



### ➤ 21年3月期のポイント

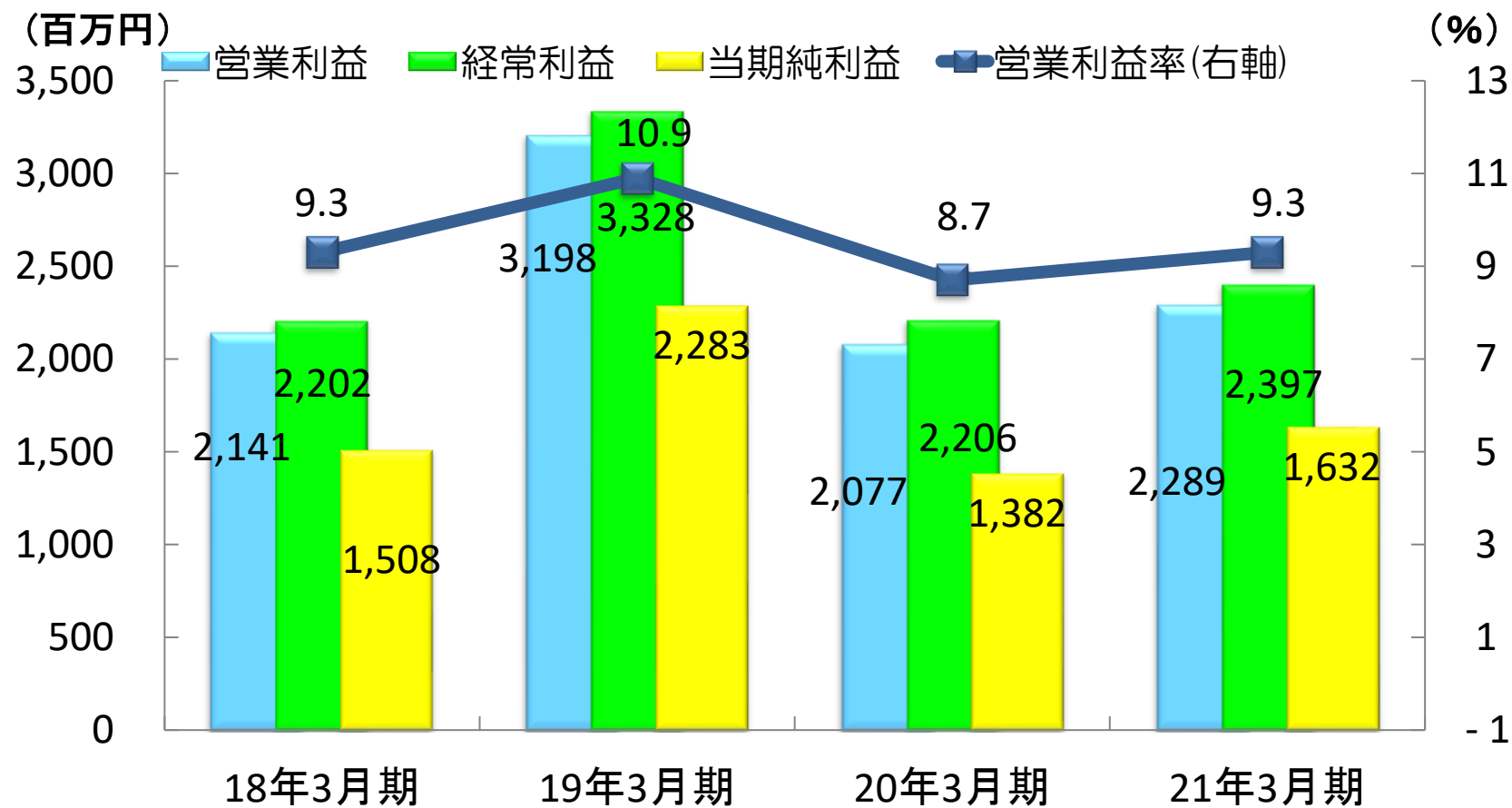
搬送機械事業：大口物件の減少が影響。前年比14.2%減。

産業機械事業：5期連続増収の64億1千3百万円の売上。前年比7.2%増。

精密機械事業：受注高同様に国内は低迷、中国向け好調。前年比32.1%増。

過去2番目の売上実績 246億4千8百万円で着地。

## 営業・経常・親会社株主に帰属する当期純利益推移



### ➤ 21年3月期のポイント

当社グループ一丸となってコストダウンと経費節減に注力した結果、各利益とも増益。なお、営業利益・経常利益は19年3月期に続く過去2番目の実績。

# 連結貸借対照表

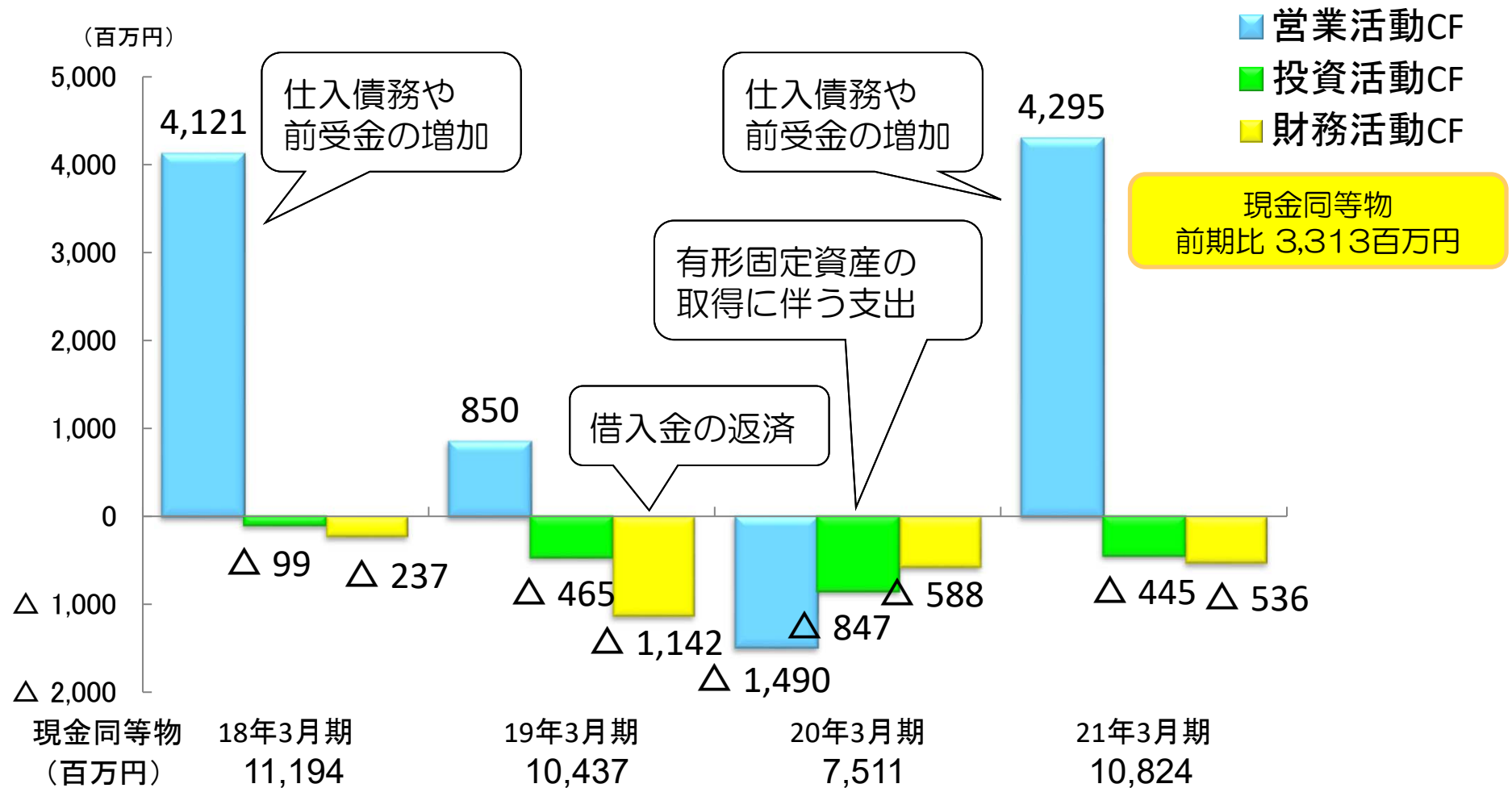
単位(百万円)

|          | 2020/3月期<br>通期 | 2021/3月期<br>通期 | 増減    | ポイント(前期比較)        |
|----------|----------------|----------------|-------|-------------------|
| 流動資産     | 21,037         | 23,071         | 2,034 |                   |
| 現金及び預金   | 7,651          | 10,954         | 3,303 | 売上高や前受金の増加        |
| 売上債権     | 9,671          | 9,198          | △ 472 |                   |
| 仕掛品      | 1,450          | 1,146          | △ 303 |                   |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,196          | 1,711          | △ 484 |                   |
| その他流動資産  | 69             | 60             | △ 9   |                   |
| 固定資産     | 14,282         | 16,817         | 2,535 | 投資有価証券の時価高騰による増加  |
| 総資産      | 35,319         | 39,889         | 4,569 |                   |
| 流動負債     | 9,236          | 10,320         | 1,084 |                   |
| 仕入債務     | 6,306          | 6,464          | 158   |                   |
| その他流動負債  | 2,930          | 3,856          | 926   | 中国向け売上の前受金入金が増加   |
| 固定負債     | 3,578          | 4,048          | 470   | 無償改修に伴う製品保証引当金の取崩 |
| 純資産      | 22,504         | 25,519         | 3,015 | その他有価証券評価差額金が増加   |
| 負債及び純資産  | 35,319         | 39,889         | 4,569 |                   |
| (自己資本比率) | 63.7           | 64.0           | 0.3pt |                   |

## ➤ 21年3月期のポイント

- ①現金及び預金（3,303百万円の増加）：売上高や前受金が増加。
- ②固定資産（2,535百万円の増加）：投資有価証券の時価高騰による増加。
- ③その他流動負債（926百万円の増加）：中国向け売上の前受金入金が増加。
- ④純資産（3,015百万円の増加）：その他有価証券評価差額金が増加。

# キャッシュフロー推移



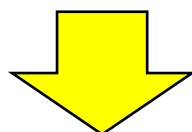
## ➤ 21年3月期のポイント

売上高の増加に加え、仕入債務や前受金の増加により、営業活動によるCFが大幅に増加し、現金及び現金同等物が増加。

2021年度から2023年度までの中期経営計画  
『チャレンジ280』

2021度経営スローガン

新たな変革にスピードを意識し  
果敢に挑戦して行こう



重点施策

『受注の確保』 『コストの削減』 『品質の向上』

# 2022年3月期 業績予想

単位(百万円)

|              | 2021年<br>3月期実績 | 2022年3月期予想 |        |         |         |
|--------------|----------------|------------|--------|---------|---------|
|              |                | 上期         | 通期     | 前期比     |         |
|              |                |            |        | 増減額     | 増減率 (%) |
| 受注高          | 24,466         | 13,040     | 26,160 | 1,694   | 6.9     |
| 受注残高         | 8,807          | 11,330     | 10,600 | 1,793   | 20.4    |
| 売上高          | 24,648         | 10,510     | 24,360 | △ 288   | △ 1.2   |
| 売上総利益        | 6,700          | 2,680      | 6,560  | △ 140   | △ 2.1   |
| 営業利益         | 2,289          | 545        | 2,160  | △ 129   | △ 5.6   |
| 営業利益率 (%)    | 9.3%           | 5.2%       | 8.9%   | △ 0.4pt | —       |
| 経常利益         | 2,397          | 580        | 2,230  | △ 167   | △ 7.0   |
| 当期純利益        | 1,632          | 390        | 1,510  | △ 122   | △ 7.5   |
| 1株当たり純利益 (円) | 107.98         | 25.79      | 99.85  | △ 8.13  | —       |

## ➤ 22年3月期のポイント

- 受注高は、新型コロナウイルスの影響により国内設備投資に不透明感はあるものの、中国向け精密機械と底堅い搬送機械の自動化需要を取り込む。
- 売上高は、6年連続の220億円超を目指す。
- 経常利益は、5年連続20億円超、当期純利益は5年連続の10億円超を目指す。

## 2022年3月期 セグメント別 売上高予想

単位(百万円)

|        | 2021年3月期<br>実績 | 2022年3月期予想 |        |       |        |
|--------|----------------|------------|--------|-------|--------|
|        |                | 上期         | 通期     | 前期比   |        |
|        |                |            |        | 増減額   | 増減率(%) |
| 搬送機械事業 | 9,293          | 4,150      | 9,300  | 7     | 0.1    |
| 産業機械事業 | 6,413          | 1,970      | 6,240  | △ 173 | △ 2.7  |
| 精密機械事業 | 8,439          | 4,160      | 8,330  | △ 109 | △ 1.3  |
| その他事業  | 502            | 230        | 490    | △ 12  | △ 2.4  |
| 合計     | 24,648         | 10,510     | 24,360 | △ 288 | △ 1.2  |

### ➤ 22年3月期のポイント

- 搬送機械事業 : サービス体制の強化と新規顧客の開拓。
- 産業機械事業 : 民需・ゲート市場でのシェアアップとサービス強化。
- 精密機械事業 : 新規顧客の獲得と海外市場でのシェアアップ。



# 設備投資、減価償却費、研究開発費

(億円)

■ 設備投資額



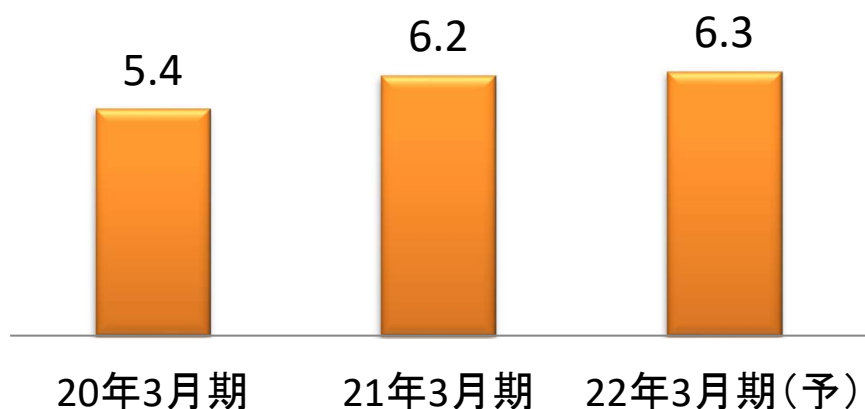
(億円)

■ 研究開発費



(億円)

■ 減価償却費



## 【設備投資額】

- 21年3月期は、新機種開発に向けた高精度測定器の導入と生産設備の老朽化更新。
- 22年3月期は、より積極的に生産設備の老朽化更新と増設。

## 【減価償却費】

- 減価償却費は、前年度並み。

## 【研究開発費】

- 市場や顧客にターゲットを絞った研究開発。
- 中長期を見据えた開発計画の推進。

# 搬送機械事業の概況

## 【Seibuピッキングシステム概要】

### □ 主要商品

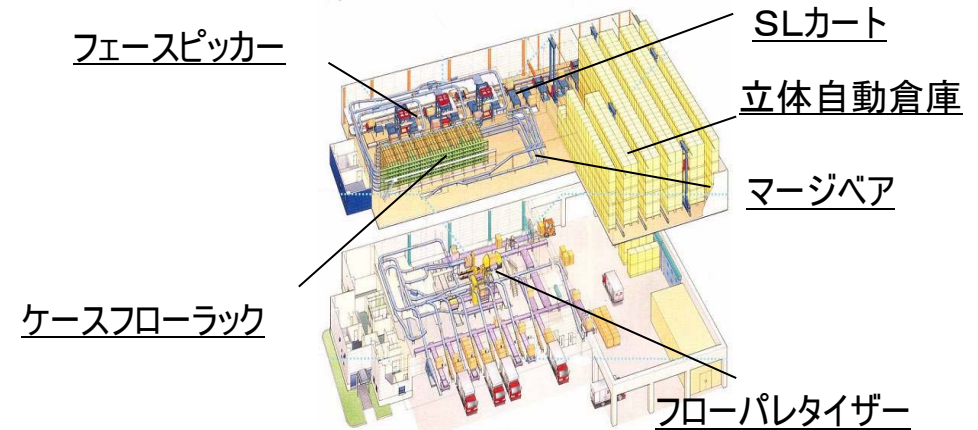
- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン

### □ 事業の特徴

- 自社開発・販売
- オンリーワン商品
- 24時間対応サービス体制
- 優れたソフト開発力

### □ シェア(推定値)

- 立体自動倉庫市場 20%
- ピッキングシステム  
(高速分野) 10%
- 無人加工システム市場 40%



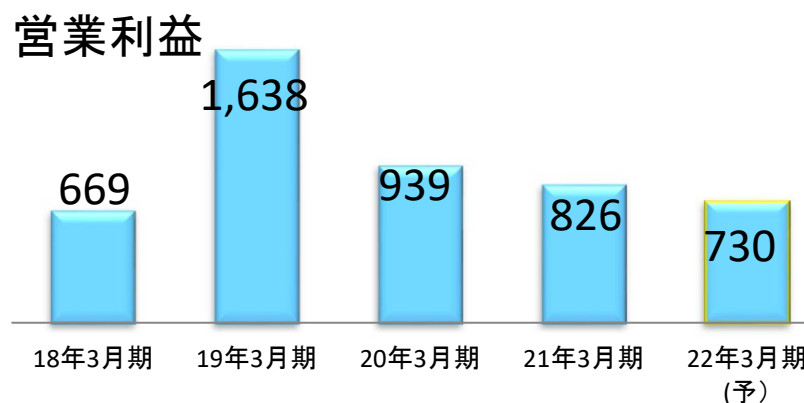
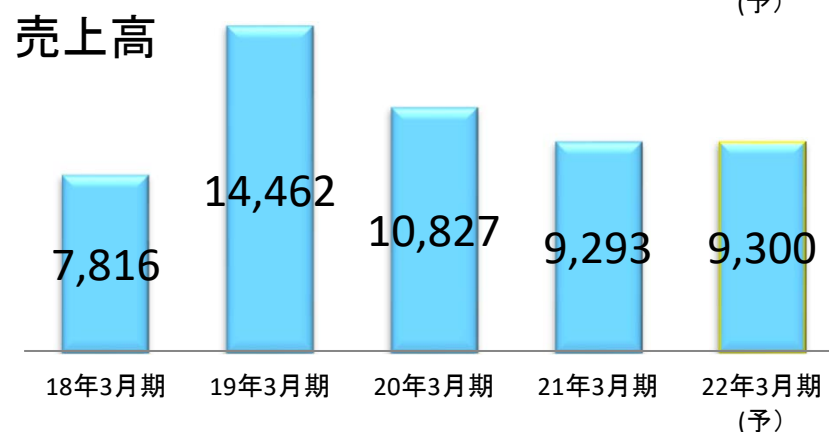
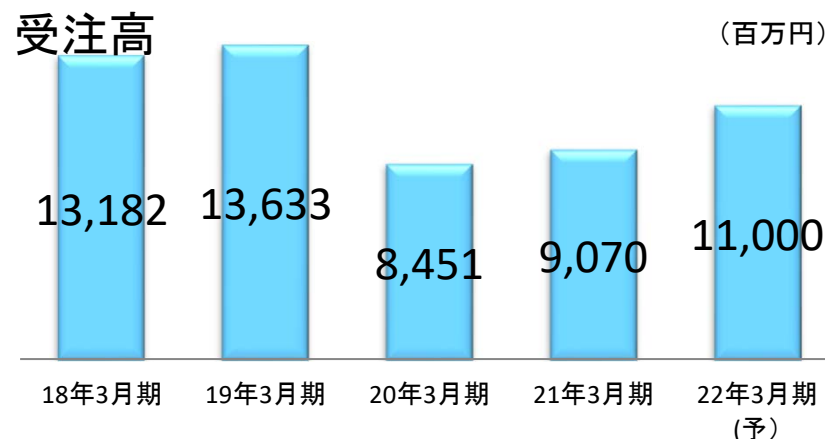
### □ 主な納入先業界

| < 業 界 >   |
|-----------|
| 食 品       |
| 医 薬 / 化 学 |
| 機 械       |
| 電気機器      |
| そ の 他     |

## 搬送機械事業 2022年3月期の基本方針

1. 従来型自動倉庫の採算性向上と新市場開拓。
2. ロボティクス・マテハンの開発並びに販売。
3. 提案型サービスによる拡販とコールセンターの充実。

# 搬送機械事業 通期見通し



## 重点施策

- 顧客の課題解決型『トータルソリューションシステム』の提案、開発、製造・販売。
- 『ロボティクス・マテハン』の開発、製造・販売。
- 流通・食品・電池・薬粧・機械の各業界を重点に拡販。
- (株)豊田自動織機殿との機種統合による標準自動倉庫のOEM供給。
- 国内外（中国）向けサービスメンテ事業の強化。

## トピックス

### 『カゴ車デパレ装置とカートケースローダー』

センター内における入荷から出荷に至る一連の物流フローを具現化し、カゴ車に積まれた混載ケースを自動でデパレタイズする、新たな開発機「カゴ車デパレ装置」と、多種のケースを6輪カートへ自動で積み付ける「カートケースローダー」を組み合わせました。

この機種は、一般的なロボットと比べて「50%省スペース」「低コスト」「安全性」を実現した点が最大の特徴であり、市場競争力の高いシステムとなっています。



# 産業機械事業の概況

## □ 主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置
- バルブ制御システム



(バルブアクチュエータ)  
Semflex®シリーズ



ゲート駆動装置  
(大型チェーン式)

## □ 事業の特徴

- 高い市場占有率
- 納入実績70万台
- サービス・メンテナンス網の充実  
(全国をカバー)

## □ シェア（推定値）

- 上下水道 70%
- 電力・鉄鋼 20%
- 河川・ダム 40%

## □ 主な納入先業界

| < 業 界 >     |                            |
|-------------|----------------------------|
| 官庁関係        | （厚生労働省・国土交通省・防衛省・各地方自治体 他） |
| バルブ・ゲートメーカー | 各社                         |
| 電機・重工・造船    | 各社                         |
| そ の 他       |                            |

## 産業機械事業 2022年3月期の基本方針

1. メンテプランの提案強化によりME事業の受注拡大。

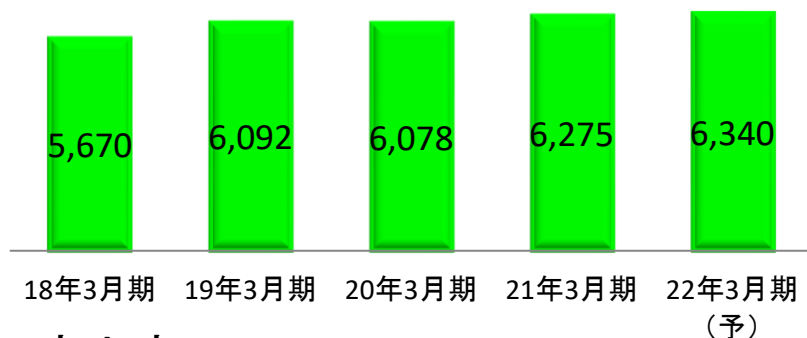
2. 災害対策商品を民需・ゲート市場へ展開。

3. 海外生産工場立ち上げと共に海外市場に適合した製品を開発し市場展開・拡販を行う。

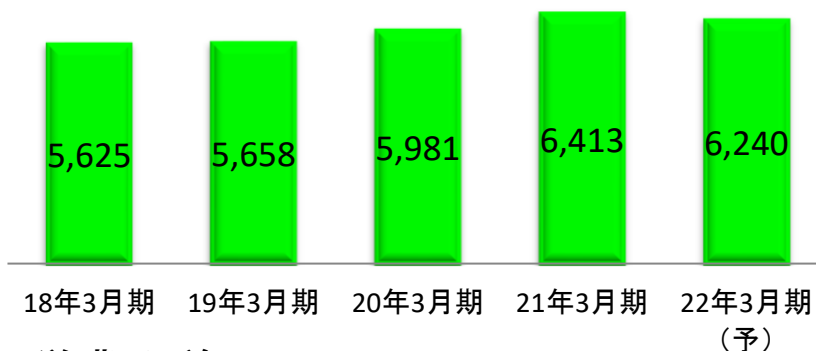
# 産業機械事業 通期見通し

## 受注高

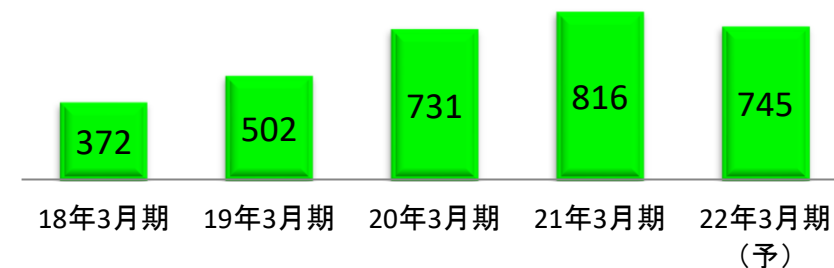
(百万円)



## 売上高



## 営業利益



## 重点施策

- 鉄鋼などの民間企業をターゲットに提案型新システムの拡販。
- 国内火力発電所の新規案件の受注獲得。
- 造船・ガス分野にVMMで新規参入及び載せ替え案件の受注獲得。
- 大型ゲート物件のコストダウンと拡販。
- メンテナンス受注の獲得。
- タイ市場の拡張。現地生産の充実と整備。

## トピックス

### 『民需／海外 拡販機種「Semflex-VMM-Z」開発』

市場の変革、イノベーションに対応するためSemflexシリーズの開発販売を行い、製鉄所・艦船・ガス・化学・海外市場で成果を上げてまいりましたが、更なる市場拡販を図る為、汎用機種「Semflex-VMM-Z（インテグラル）タイプ」の開発及びラインナップ（Type-01/04/07/1）を完了しました。Semflexシリーズのラインナップ強化や海外規格への対応により新市場を開拓し、更なる拡販、事業発展に貢献致します。





# 精密機械事業の概況

## □ 主要商品

### 【放電加工機】

- 超精密・高精密ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機（油仕様）

### 【工作機械】

- 高精密小形NC旋盤
- 高精度複合研削盤



（放電加工機） MEX15



（工作機械）SFG-35UP

## □ 事業の特徴

### 【放電加工機】

- プレート加工におけるピッチ精度と加工安定性において、金型業界No.1
- ワイヤ自動供給装置は、業界No.1の高評価

### 【工作機械】

- 小物量産旋盤加工における抜群の寸法安定性
- プレス金型等における研削加工分野への市場拡大

## □ シェア（推定値）

- 放電加工機：35%（国内生産分）
- 工作機械：高精度対象商品

## □ 主な納入先業界

| < 業 界 > |
|---------|
| 精密金型 他  |
| 自動車・航空機 |
| 電子・電機   |
| 光 学     |
| そ の 他   |



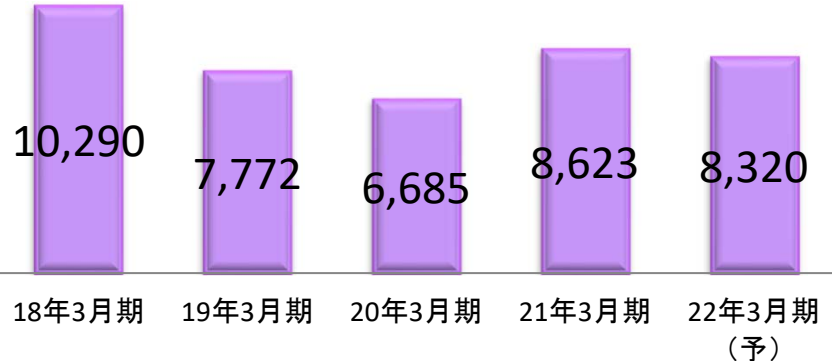
## 精密機械事業 2022年3月期の基本方針

1. 地域別の販売戦略を展開し、中国一極からの脱却を目指す。
2. ターゲット分野（半導体・EV車・医療・鍛造金型）に向けた新製品開発、新システム開発のスピードアップ。
3. 保守、技術サポートを充実させ、販売店との強化を図り、当社のブランド力と知名度をアップさせる。

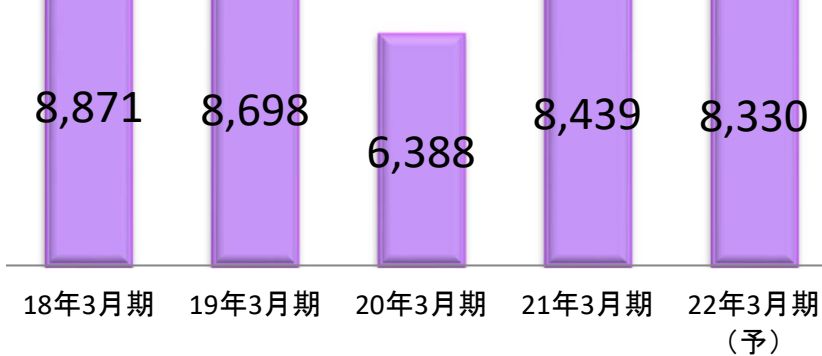
# 精密機械事業 通期見通し

(百万円)

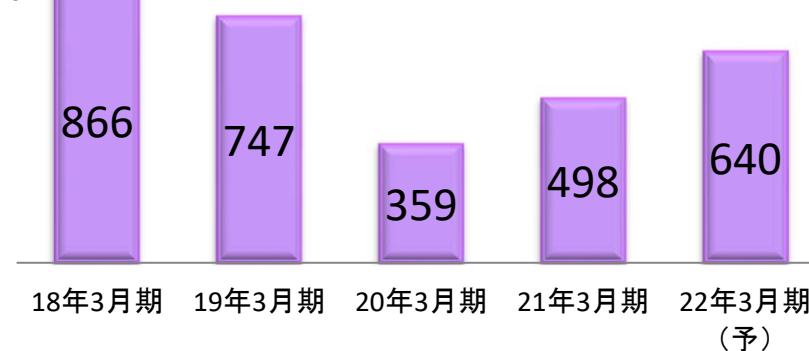
## 受注高



## 売上高



## 営業利益



### 重点施策

#### 【放電加工機】

- 大型高精密加工機『SuperMM80B』の拡販。
- プレート加工に特化した超精密加工機のラインアップ完成。
- ラインアップの拡張。高精密・超精密をアピールし海外市場獲得。

### 重点施策

#### 【工作機械】

- 金型業界へ高精度複合研削盤として、SFGシリーズを国内外に拡販。
- 高生産性の客先のご評価を基に、自動車及び航空機の高精度部品加工機として拡販。

### トピックス

#### 高精密自由形状内面研削盤「SFG-28」のモデルチェンジ

SFGシリーズとして、「SFG-35」とのデザイン統一を行い、好評だった2面開口カバと、マルチタッチ対応の21.5インチディスプレイを搭載した

SmartNCを採用し、大幅に操作性と機能が向上しました。SmartNCにおいては、対話式プログラム作成機能や測定プログラム機能に加えて、新たにDXFデータからプログラムを自動的に作成する機能（特許申請中）を搭載しました。今後は需要が増加しているレンズ金型業界や、自動車部品など小物精密金型業界を中心に、拡販に取り組んでまいります。



# 株主還元に対する考え方

## ■ 配当政策

株主還元につきましては、経営の重要課題の1つとして認識しております。配当政策については、安定的配当を基本としつつ、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期計画、財務状況、収益性を考慮しながら、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

1株当たりの配当金実績と予想（2021年5月14日現在）

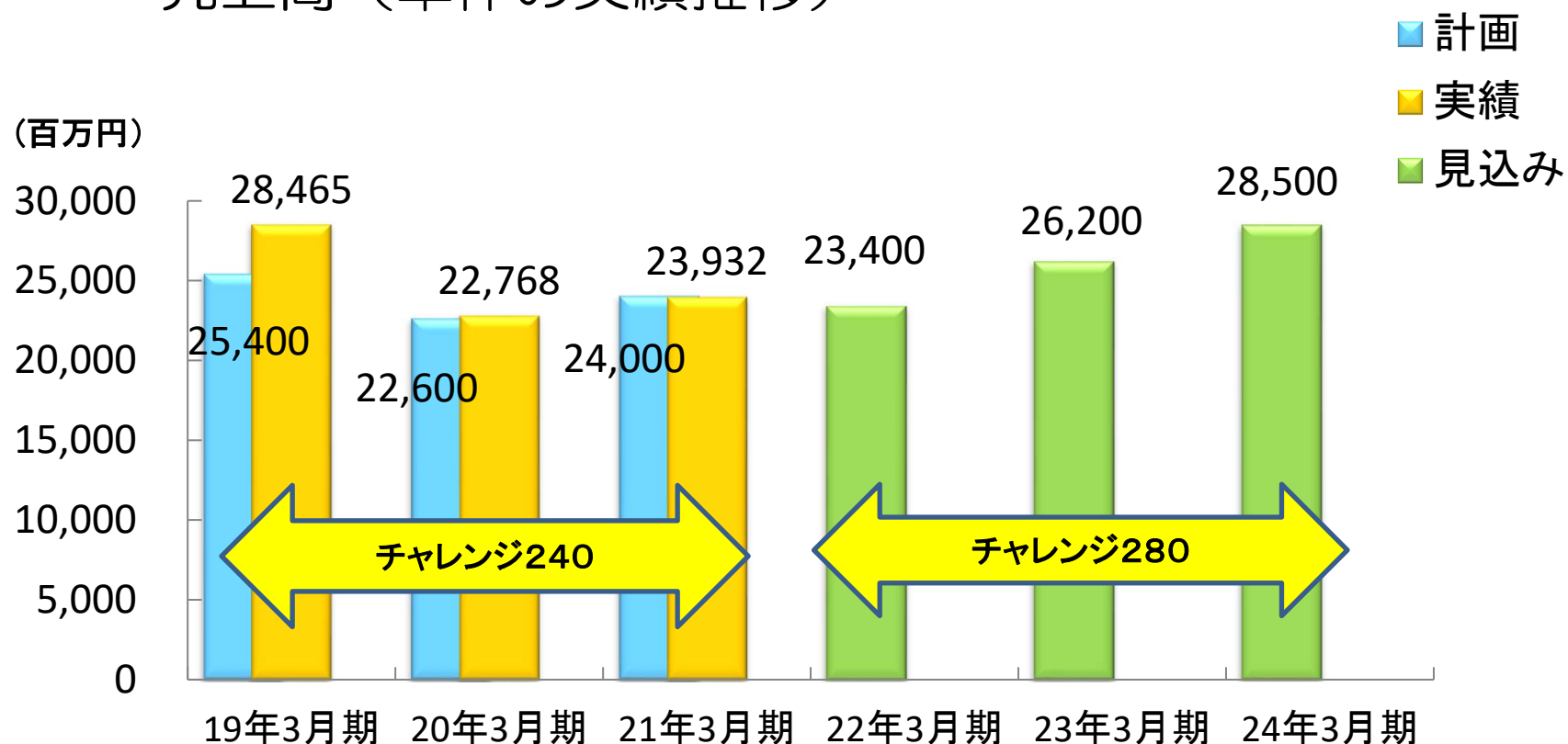
|       | 2019年3月期<br>実績 | 2020年3月期<br>実績 | 2021年3月期<br>(予定) | 2022年3月期<br>(予想) |
|-------|----------------|----------------|------------------|------------------|
| 中 間 期 | 15.00円         | 12.50円         | 14.00円           | 15.00円           |
| 期 末   | 25.00円         | 15.50円         | 19.50円           | 15.00円           |
| 年 間   | 40.00円         | 28.00円         | 33.50円           | 30.00円           |

## ■ 株主優待

株主優待制度を実施しております。3月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1单元（100株）以上保有の株主様に当社オリジナルQ.U.Oカード1,000円を贈呈いたします。

## 「チャレンジ 280」中期経営計画

### 売上高（単体の実績推移）



- 新・中期経営計画『チャレンジ280』では、常時売上高280億円以上を達成する為の確固たる基盤を構築して参ります。
- 2022年3月期の期初計画は、前年度実績を下回るが、更なる上積みを図り、計画達成を目指します。

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。



東証二部・福証（証券コード：6144）

＜お問い合わせ先＞ 管理部 総務課

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

URL：<https://www.seibudenki.co.jp/>